



題字 井口 文章
卒業おめでとう版
印刷・発行
錦城高等学校新聞
委員会 2018

みんなで作る
錦城高校新聞

53回生、卒業おめでとうメッセージ！
大変なことがあっても錦城で過ごした3年間を思い出して頑張ってください。また錦城に遊びに来てください。待っています。

旅立ちを前に最後の贈り物

熱気と笑顔に包まれた三送会

2月27日(火)の午後、第一体育館で53回生の三送会が行われた。身体を張った先生達の出し物や1・2年生の歌やダンス、漫才などで会場は大盛り上がりだった。

2月27日(火)第一体育館 熱気に包まれた。

三送会盛り上げた
パフォーマー

2月27日(火)第一体育館 熱気に包まれた。3年生が音楽に合わせて入場すると在校生が拍手で出迎えた。ステージ上のスクリーンに合わせ会場の全員がカウン

カウントダウン後、3年生になじみ深い先生たちで構成されたバンド「キューティ

婆ニー」。前川陽子の『キューティハニー』を演奏し、三送会の幕を切る。曲中の「ハニーフラッシュ！」と叫ぶ部分では会場からも叫ぶ声があ

り続いた。その後、軽音楽部の「epaf」が「KANEBO」の「ルエット」を演奏。笑顔あふれるノリのいい曲で会場を沸かせた。

その後も漫才、硬式テニスの歌とダンスなど、様々なパフォーマンスが会場を盛り上げる。中でも体操部のステージでは、ただ技を披露するだけでなく顧問の仁井先生が向かってくる敵を倒していくという寸劇となっていた。華麗な技を繰り出していき、ひとつひとつの技が決まるたびに歓声が響く。それぞれのパフォーマンスの合間では、司会の中西弘哉くん(2E)と小林泰士くん(2K)が一発ギャグや歯ブラシを回す芸を披露し、会場を絶えず笑いで包んでいた。



全ての演目が終わり、会場に向かって手を振る3学年の先生達

全員で盛り上げた合唱「祭」

今年の合唱祭はどのクラスもクオリティが高く、また例年以上の盛り上がりで、まさしく「祭」と呼べる行事となった。

全体合唱「COSMOS」は練習時間の都合でパート関係なく歌うこととなったが、男女の声がうまく重なり合い、合唱祭の始まりを飾るのにふさわしい合唱になった。

2年生の部で金賞を受賞したB組が歌った曲は「ヒカリア」。最初に「原爆投下直後の絶望から、自然を尊び平和のヒカリを求めるといふ情景を思い浮かべながら歌います」

と、サプライズで先生方の合唱が行われた。歌った曲は「キーン肉マンの『ゴゴゴ!』」。先生方が壇上に立つと生徒からは盛大な歓声が上がった。先生たちは少し恥ずかしそうな様子だった。後半のサビでは指揮の

と、曲紹介があり、力強い歌声と伴奏で曲は始まる。重厚な表現力に富んだ合唱で観客を魅了した。

生徒の合唱が全て終わると、サプライズで先生方の合唱が行われた。歌った曲は「キーン肉マンの『ゴゴゴ!』」。先生方が壇上に立つと生徒からは盛大な歓声が上がった。先生たちは少し恥ずかしそうな様子だった。後半のサビでは指揮の

納富先生が踊り、生徒を沸かせた。先生1人ひとりの個性が光る合唱は大歓声で幕を閉じた。

今年から、結果発表の際に

今年から、結果発表の際に



ヒーローショー張りのアクションを見せる体操部と仁井先生

笑いと感動のビデオレター

続いて水口裕太くん(3B)ら映画研究部が作成したビデオレターが上映された。ドラマ「相棒」や「ブルゾンちえみwithB」の先生たちによるパロディーなどが披露され、完成度の高さに生徒たちも盛り上がった。ポカリスエットのCMのダンスでは、ダンス部と先生が本家にも劣らない完璧な踊りを見せる。「プロフェッショナル 仕事の流儀」ではパロディーといえ、阿部先生が教師として「いろいろ失敗してもなにかそこから学べる」とあるなど、真剣に語っていた。また、3年生にゆかりのある先生たちを始め、保健室の先生、事務の方々、食堂のみなさんからそれぞれ心のこもった言葉が贈

生徒への思いを込めた記念品

今年度の卒業記念品はポータブルステージ(いわゆる演壇)3台だ。3学年の学年主任の阿部一郎先生によると、記念品は昨年11月からPTAと先生の間で何度も話し合いが行われ決められたという。今使われている演壇は20年以上前から使われているもの。老朽化していたため、ポータブルステージを記念品にすることとなった。受注制で高さを変えられるタイプのもので、実物は5・6月頃に届くそう。球技大会の表彰や式典、文化祭のクラス劇などで使うことができると思いますと阿部先生。「生徒のためのものだから、色んなところでどんどん使ってほしいです」と話してくれた。(鶴)



「記念品をどんどん使ってほしい」と語る阿部先生

ダンス部、冬の舞台で舞い踊る

2月24日(土)にダンス部ウィンターステージが行われた。開演の10分以上前からホール内で待っている人も多く、席が足りなくなる程の観客が詰めかけた。開幕直前にステージからダンス部の掛け声が聞こえ、会場の熱気が高まった。オープニングではテンポが良く、明るい曲に合わせたダンスで観客を沸かせる。その後も男子の洗練された振り付けや躍動的なダンス、女子のなめらかなながらもキレのあるダンスで圧倒。ダンス部OBの発表ではステージに手招きをする振り付けを入れ、観客も共に盛り上がっていく。バク転やブレイクダンスも披露し、会場は拍手と歓声に包まれた。女子のスロウダンスは今まではうって変わってゆったりとした曲調と、流れるような動きで優雅さを感じさせた。歓声を上げながら見ていた観客も美しいダンスに魅了されていた。エンディングではそれぞれがカラフルな衣装を着て、あふれる笑顔で楽しそうにダンスを披露。今回のテーマである「花」を持ちながら客席の近くで踊る部員もいた。ステージに戻る際には持っていた花を観客に手渡すシーンも見られ、会場の盛り上がりは頂点に達する。閉幕後、観客は感想を話し合いながらホールを後にした。(天)



早変わり衣装で観客を驚かせた2年のダンス

三年生へ最高の送り出しを

2月26日(月)に三送会の企画をしていたという。モチベーションを高く保ちたいと、1年生は主に黒板アート、2年生は折り紙のクローバーの準備をした。3年C組でHR委員として準備を携わっていた玉野井太志くん(1C)は「窓ふきをやるために新聞紙を用意していたという。上村さんの担当は3曲だった。誰か弾くか直前まで分からず不安だった。来年はよりスムーズに動けるといいと思います」と話した。来年はより良い合唱祭を期待したい。(泰)



感謝の気持ちを黒板に表す



「おめでとう」と書かれた皿を回す先生たち

大成功の三送会
実行委員長の菅原彩乃さん(2E)は今回の三送会を「前までいくつ失敗があったにも関わらず、本番は大きな問題も無かった」と話した。今年の三送会には司会が登壇するタイミングが違っていた。去年と異なる点が多かった。しかし出演者はもちろん、委員や先生方、手伝ってくれた人が助けてくれたおかげで成功させることができた。菅原さんは最後に「後輩にいい形で引き継ぎ、来年もいいものになればいいなと思います」と笑顔で話した。

無く終えられてよかった。今年度の三送会には司会が登壇するタイミングが違っていた。去年と異なる点が多かった。しかし出演者はもちろん、委員や先生方、手伝ってくれた人が助けてくれたおかげで成功させることができた。菅原さんは最後に「後輩にいい形で引き継ぎ、来年もいいものになればいいなと思います」と笑顔で話した。

むらさき草

昨年から話題の吉野源三郎作『君たちはどう生きるか』。ジャナリストの池上彰氏も大絶賛という本を見た時、不意にある苦い記憶を思い出しながら本屋に並ぶこの本を手にとった。去年の秋、とある高校生対象の討論会に参加した。国連大学という壮麗な会場もさることながら、幼い頃からの憧れである池上彰氏が特別講師を務めるとあって心は浮き立っていた。おとうとするあまり、ほとんど手が挙げられなかった。周りの人は次々と当てられていくのに、結局自分一人、何も言えぬまま。人生で一番楽しんだ日は、虚しさが入り混じった後悔で満ちた。『君たちはどう生きるか』の中で主人公コペルくんが友人と仲違いをして深く悩んだとき、母親はこんな話をしている。女学生の頃、石段で重い荷物を運ぶおばあさんを見た彼女は「次に止まったら声をかけよう」と思うが何も言えず、結局迷惑げに一瞥される。どうして思ったことを行動に移せなかったんだろう。あの時ぐずぐずしてしまっただけで、心の中ではつきりと残っている。筆者はここまで読んで、だんだん「だからこそ友達に謝りにいこうよ」と諭す場面が続きとばかり思った。だが、実際は違った。忘れられないのが、嫌々息子に尋ねられた彼女は「ううん。将来自分の中に、少しでもきれいな心が湧いてきたら、今度こそそれを生かさないや」と、きつと何度も背中を押してくれるから。そしてコペルくんは翌日、学校で友人たちと見事に和解し、元通りの日常を再び歩み始めた。どんなに思っているんだろうと、そのような経験があるかないかでは、案外人生は大きく変わっていくのかもしれない。高校だけでなくこの先、どんなに上手いかわからないがあっても、愛すべき失敗たちを自分の糧にして、新たな季節へと大きく羽ばたいていきたい。私たちが、どう生きるか。

五輪にも負けない！部活大躍進

錦城生、見せ場の冬

3学期に入ってから、様々な部活が活躍している。今回編集部では、女子フットサル部・軽音楽部・ダンス部・映画研究部・将棋部にこれまでの道のりや感想、そして大盛況の現場を取材した。

将棋部全国大会で健闘

1月26日(金)、27日(土)に開催された第26回全国高等学校文化連盟将棋新人大会に出場した池崎可南子さん(2E)。今大会では1日目に4勝60位という結果に終わった。



部活で将棋を指す池崎さん

以上することで2日目に勝ち進むことができる。池崎さんは惜しくも3勝で2日目に残ることができず、124人中60位という結果に終わった。負けた対戦のうち、元優勝者との対戦には特に力の差を感じてしまったという。この結果について「悔しいです。もっと努力しないといけないなと思いました。でも自分なりに実力以上の力は出せたと思います」と振り返った。

軽音楽部 他校と合同ライブ

2月11日(日)富士見中学校軽音部と共に本校の軽音部がホールにて合同ライブを行った。今回のライブでは富士見中学高等学校から中学生も参加したが、両校の生徒が遠慮無く入り混じり大きな盛り上がりを見せた。



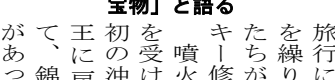
クオリティの高い曲を披露する中学生バンドの「反比例」

見中学高等学校の「反比例」は2曲続けてオリジナルの楽曲「waiting girl」を披露した。曲がほとんどの錦城。オリジナルとは思えないハイクオリティな楽曲に観客は酔いしれ、このバンドの完成度の高さに感嘆の声が上がった。

蔵王と錦城を繋いで半世紀

1月29日(月)から2月2日(金)の間、山形県にある蔵王山で2年生のスキー修学旅行が行われた。1月30日(火)には蔵王山の噴火警戒レベルが引き上げられ、山頂まで行くことができなくなり全員が樹氷を見ることは叶わなかったが、天候に恵まれ心に残る5日間だった。

美智子さんは錦城が最初に利用した宿でお世話をしてくれていたという縁で、50年以上現地の手配全般を担ってきた。錦城の修学旅行の最大の特徴は「手作り」であることだ。本来なら旅行業者がすることまで、全て教員と現地の方々



「この経験は自分にとっても宝物」と語る

美智子さんはその気さくな性格と交渉能力の高さから、蔵王と錦城の双方の人々に遠慮なく要求をぶつけ、1回生の頃からこのスキー旅行を支え続けてきた。今では2月上旬となっている旅行の時期も、以前は繁忙期を避け3月となっていた。しかし「3月ではすぐ進級で、説明を重ねるなど力を尽くした。『どうやったらもっと良い

ダンス部本選出場

1月28日(日)に開催された日本工学院第21回高校生ダンスコンテストの予選を通過したダンス部。部長の大山明日香さん(2H)と大会関係の庄司実生さん(2F)に話を聞いた。ダンス部では顧問の先生の「選ばれたメンバーで勝つ」という思いが強く、全員で勝つという方針により、大会のためにメンバーを選抜することにはしていない。そのため、2年生全員で大会に挑戦し、毎日の練習では、大会に向けて団結力を高めるために大



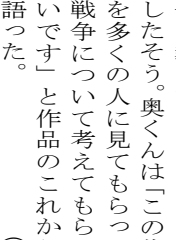
「この代でよかった」と話す

同じ名前何人いる？

| 学年 | 性別 | 名前 | 人数 |
|----|----|-------|-----|
| 1年 | 男子 | ゆうすけ | 7人 |
| | 男子 | こうたろう | 4人 |
| 2年 | 男子 | ゆうき | 9人 |
| | 男子 | しょうた | 6人 |
| 3年 | 男子 | ゆうき | 9人 |
| | 男子 | たくみ | 7人 |
| 学年 | 男子 | ゆうき | 20人 |
| | 男子 | ゆうすけ | 13人 |
| 1年 | 女子 | まい | 5人 |
| | 女子 | しおり | 4人 |
| 2年 | 女子 | りさ | 7人 |
| | 女子 | まなみ | 6人 |
| 3年 | 女子 | かな | 5人 |
| | 女子 | ちなろ | 5人 |
| 学年 | 女子 | ちひろ | 11人 |
| | 女子 | はるか | 11人 |

映画研究部、関東で最優秀賞

1月28日(日)の第15回関東地区放送コンテストが行われた。ビデオメッセイジ部門で映画研究部が「戦争と南秋津の平和観音像」で最優秀賞を獲得した。作品を取り上げたのは、小俣権次郎さんとその息子小俣光明さん。権次郎さんは戦時中に墜落したB29爆撃機の乗組員全員を弔い、東村山市に平和観音像を建てた方だ。光明さんは権次郎さんの意志を継ぎ、乗組員の遺族全員を何度も渡米して探した。

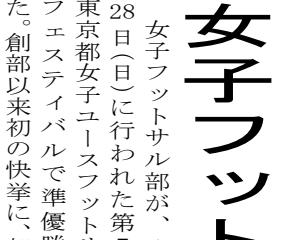


小俣光明さんに当時のことを聞く

監督の奥終太くん(2H)は「事実を取り違えずに相手の言いたいことを伝えるように意識しました」と工夫した点を語る。中学生のときに東村山市の平和観音像についての新聞記事を読んだことが、取組のきっかけになった。取材の際には相手の話を広げて当時の様子を教えてくださいましたと振り返る。ド

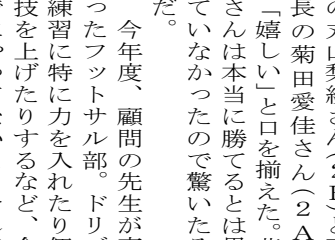
女子フットサル部、都で初の準優勝

女子フットサル部が、1月28日(日)に行われた第5回東京都女子ユースフットサルフェスティバルで準優勝した。創部以来初の快挙に、部長の丸山梨紗さん(2B)と副部長の菊田愛佳さん(2A)は「嬉しい」と口を揃えた。菊田さんは本場に勝つとは思ってなかったと驚いたという。



初回の快挙を振り返る2人

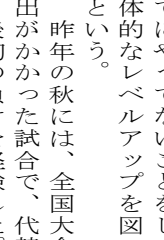
今年度、顧問の先生が変わったフットサル部。ドリブル練習に特に力を入れたり個人技を上げたりするなど、今までにやってないことをして全体的なレベルアップを図った。昨年の秋には、全国大会進出がかかった試合で、代替わり後初の負けを経験した。落



初回の快挙を振り返る2人

多く、671人中72人の約10.2年の読み方の調査結果は、比女子はあまり一つの名前が見つかりませんでした。3年生が生まれた年ですから、錦城も3年生男子で2位となっています。

2017年生まれの赤ちゃんの名前ランキング女子の1位は「サクラ」、男子の上位に「ア」や「ユ」は響きが良い、



生徒会活動

- 1月11日(木) 合唱祭実行委員会
- 1月16日(火) 合唱祭実行委員会
- 2月13日(火) HR委員会
- 2月16日(金) 合唱祭実行委員会
- 2月20日(火) 図書委員会
- 2月26日(月) 体育学芸委員会
- 中央委員会 常時活動中